

## 1. 専門医の広告表示に関する厚労省医政局からの施行通知について

日本専門医機構を通じ、厚生労働省より専門医の広告表示に関する案内がございました。御確認よろしくおしいたします。

### 【概要】

- 1) 日本専門医機構認定病理専門医（以下 機構病理専門医）資格を持っている方は、それを広告することができます。
- 2) 日本病理学会認定病理専門医（以下 学会病理専門医）資格と機構病理専門医資格を同時に持っている方は、機構病理専門医資格のみ広告できます。（学会病理専門医資格は広告できません）
- 3) ただし現在、学会病理専門医資格を広告している場合、機構病理専門医資格を広告するまでの間、学会病理専門医資格を広告できません。
- 4) 学会病理専門医資格のみを持っている方は、当分の間、従前どおり広告することができます。

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/senmoni/20211210info.html>

## 2. 第 68 回 (令和 4 年/2022 年) 日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説 (A 演説), 症例研究賞演説 (B 演説) について (公募のお知らせ)

令和 4 年/2022 年秋開催予定の第 68 回日本病理学会秋期特別総会 (盛岡) における学術研究賞演説 (A 演説) と症例研究賞演説 (B 演説) の募集をいたします。

これら演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

### A 演説 (学術研究賞) とは:

学術研究賞 (A 演説) は、病理学領域における特定の課題について、優れておりかつ蓄積した研究業績を挙げていると判断された会員 (学術評議員) が担当し、会員の病理に関する学術、医療の振興とその普及に資することを企図して設ける。

A 演説の内容は、以下の要件を満たすものとする。

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを

代表するものであること、従って単独名が望ましい。

尚、Pathology International へ総説を投稿すること。

選出成績上位者は、ヨーロッパ病理学会の派遣候補として推薦する場合があります。

### B 演説 (症例研究賞) とは:

症例研究賞 (B 演説) は、病理学領域における特定の疾患について、症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する優れた症例研究業績を挙げていると判断された会員 (学術評議員および学術評議員経験者) が担当し、会員の病理に関する学術、医療の振興とその普及に資することを企図して設ける。

B 演説の内容は、以下の要件を満たすものとする。

- (1) 症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する優れた研究であること。
- (2) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

尚、Pathology International へ総説を投稿することが望ましい。

学術研究賞演説 (A 演説)、症例研究賞演説 (B 演説) 担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

### 記

#### 学術研究賞演説 (A 演説)

- (1) 応募資格: 日本病理学会学術評議員
- (2) 提出書類の書式はホームページをご参照ください。

※応募書類は以下を PDF 化した電子媒体 (すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの) にて提出していただくことになりました。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録 (900 字以内) などを記載したもの。
  - ② 講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
- \*③の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて下さい。
- ③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文 5 編以内の別刷。

上記①～③の書類を、順番にひとつのPDFファイルとしてつないでお送り下さい。

\*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

(3) 提出先と提出方法:

提出先: 日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- ① 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。
    - i) E-mailの件名として「A演説応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
    - ii) 応募書類送付の方法(下に示すア～オのいずれか)と1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属(教室名まで正式名称を) 4. 演題名を記載して下さい。
      - ア) メール添付 ただし5MBまで
      - イ) UMINファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
病理学会事務局 ID: jsp-admin
      - ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス  
(「宅ファイル便」, 「データ便」等)
      - エ) USB, CD-ROM等の郵送送付
      - オ) その他の方法(具体的に記載して下さい。)
  - ② ①の申請メール送信後、応募書類(すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつないだもの)をPDF電子媒体として申請した方法にて送付して下さい。
    - i) 件名・表題等は「A演説応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
    - ii) ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
    - iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。
- (4) 募集締切: 令和4年1月31日(月) 23:59必着

症例研究賞演説(B演説)

- (1) 応募資格: 日本病理学会学術評議員および学術評議員経験者
- (2) 提出書類の書式はホームページをご参照ください。

\*応募書類は以下をPDF化した電子媒体(すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの)にて提出していただくことになりました。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録(900字以内)などを記載したもの。
- ② 講演内容に関係のある自著論文10編以内の一覧。  
\*③の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて

下さい。

- ③ 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文3編以内の別刷。

上記①～③の書類を、順番にひとつのPDFファイルとしてつないでお送り下さい。

\*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

- (3) 提出先と提出方法: 上に記した学術研究賞演説(A演説)の“(3)提出先と提出方法”に同じ。

※上記「A演説」の文言を「B演説」に読み替えの上、ご対応下さい。

- (4) 募集締切: 令和4年1月31日(月) 23:59必着

第68回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説(A演説)、症例研究賞演説(B演説)担当者は、令和4年3月の学術委員会において厳正・公明に選考し、同日の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局までお問い合わせ下さい。

日本病理学会事務局: jsp-admin@umin.ac.jp

参照HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/gakujyutu/2022AB.html>

### 3. 令和3年度学術奨励賞受賞候補者の応募について

日本病理学会学術委員会は、学術評議員の推薦をもって学術奨励賞受賞候補者を公募していましたが、令和3年度より候補者による応募とし、応募には学術評議員の推薦が必要といたします。

つきましては、令和3年度学術奨励賞受賞候補者を以下のとおり募集いたします。

応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術奨励賞とは:

学術奨励賞は、病理学領域における研究と診断の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

応募資格について:

- (1) 年度末(令和4年3月31日)において、継続して5年以上の会員歴をもつ40歳以下の会員、あるいは学位取得後10年以内の会員であること。
- (2) 推薦にかかわる学術評議員各位は、応募者の研究歴・業績などが学術奨励賞に相応しいことを確認した上で推薦すること。

受賞者には、第111回総会(令和4/2022年4月 於神戸)にて開催予定の「学術奨励賞受賞者講演」において英語での口演をいただく予定です。

その際の優秀者は令和5/2023年度英国病理学会派遣候補者(本学会より渡航費補助金15万円支給)に推薦されます。

応募要領：

- 1) 本年度は、数名への授与を予定しています。
- 2) 提出書類の書式はホームページをご参照ください。

※応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになりました。

(1) 「日本病理学会学術奨励賞申請書」

受賞候補者となる本人が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

\* (2) の別刷をつけた業績のあたまに「○」印をつけて下さい。

(2) 本課題に関する論文のうち、代表論文 3 編以内別刷り。

(3) 「日本病理学会学術奨励賞受賞候補者推薦書」

推薦者が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

上記 (1)～(3) の書類を、順番にひとつの PDF ファイルとしてつなげてお送り下さい。

\*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

3) 提出先と提出方法：

提出先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

申請は受賞候補者となる本人から書類をお送り下さい。

① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。

i) E-mail の件名として「学術奨励賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。

ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 対象課題もしくは功績名を記載して下さい。

ア) メール添付 ただし 5MB まで

イ) UMIN ファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
病理学会事務局 ID : jsp-admin

ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス  
（「データ便」等）

エ) USB, CD-ROM 等の郵送送付

オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）

② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつなげたもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付して下さい。

i) 件名・表題等は「学術奨励賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。

ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。

iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

4) 募集締切：令和 4 年 1 月 31 日（月）23：59 必着

5) 学術奨励賞受賞者（受賞者）には、賞状と記念品が贈呈されます。

6) 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。

7) 尚、本件について、ご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/R03Incitement-award.html>

4. 第 70 回（令和 6/2024 年度）秋期特別学術集會会長ならびに第 114 回（令和 7/2025 年度）学術集會会長の募集について（公募のお知らせ）

一般社団法人日本病理学会は、第 70 回（令和 6/2024 年度）秋期特別学術集會会長ならびに第 114 回（令和 7/2025 年度）学術集會会長の募集を以下のとおり募集いたします。

1) 応募は自薦であること。

2) 応募者は、第 70 回秋期特別学術集會会長の場合は令和 6/2024 年 11 月 1 日に、また、第 114 回春期学術集會会長の場合は令和 7/2025 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65 歳以下の日本病理学会学術評議員であること。

3) 応募者は、日本病理学会学術集會開催要領（別記）の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集會對する考え方、学術集會の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。記入に際しては、用紙に適切に収まるよう配慮すること。

4) 応募の締切りは、令和 4 年 1 月末日（消印有効）までとすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

提出先・問合せ先

〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5

聖堂前ビル 7 階

一般社団法人日本病理学会 会長公募受付係

E-mail : jsp-admin@umin.ac.jp

TEL : 03-6206-9070

応募用紙書式、詳細は HP をご参照ください。

参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/kaichouboshuu-211122.html>



## 【別記】

### 日本病理学会学術集会開催要領

本学術集会開催要領は、学術集会改革案（平成 18 年 5 月 1 日決定）の主旨に基づき、国際化への対応を含め、改めて学術集会の開催に係る要領を定めたものである。

#### 「背景」

日本病理学会は「病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことを目的としており、学術集会は「病理学に関わる学会員が研究発表と意見交換を通して持続的な後継者の育成をするとともに、病理学に関する最新情報の収集を行う場」として重要な役割を担っている。病理学が対象とする分野は広く、基礎研究においては様々な研究手段や技術を包含するのみならず、病理診断の精度向上は社会的要請として日本病理学会に課せられている。これら多種多様な分野の連結を図り、新たな医学と医療の発展に寄与するとともに、医療の質を担保する専門医制度の運用と会員の医療レベルの向上に努める必要がある。一方、学問・技術の進歩による研究活動の深化と拡散化、業務の拡大や専門化、支部活動の活性化、学会・研究会の増加などにより、学会員の学術集会に求めるところも変化してきている。さらに、若手病理医・研究医の育成、国際化への対応も重要な課題となっている。

#### 「開催要領」

これらの日本病理学会における命題・課題をふまえ、学術集会では「学術研究活動の発表・意見交換」と「診断病理に関する最新情報の収集」を乖離することなく保証し、次に掲げる観点に添って開催する。

- (1) 病理学に関わる学会員の学術成果の発表の場を提供し、発表を通して若手研究者・病理医の育成を行う。
- (2) 蓄積された完成度の高い研究成果や中堅クラスの研究成果の発表を通して病理医・研究者を育成・刺激する。
- (3) 病理診断・専門医に関連する講習会を通じて診断精度の維持・向上と新知識の習得を保証し、病理診断医育成を図るとともに、基礎病理学的研究と診断病理学的知見を結びつける研究の推進と発表を促進する。
- (4) 世界への情報発信とアジア・オセアニア地域での病理学の中核を担うために国際化に取り組む、など。
- (5) 病理学に興味をもつ医学生を増やすため、学部学生の発表の場を準備するとともに、学部学生の参加に便宜を図る。

#### 「具体的留意事項」

- (1) 春期学術集会：春期学術集会の学術プログラムが研究と病理診断などのバランスの取れた内容とするため「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」

とシンポジウム、ワークショップ、一般発表演題との重なりを少なくする。そのために病理学会の事業である「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」については、それぞれ病理診断講習会委員会、研究推進委員会は学会長と密接な連携により、その内容の充実を図る。専門医資格更新に必要な講習会を実施する。「宿題報告」は1会場で行い plenary とする。

- (2) 秋期特別総会：「学術研究賞(A 演説)(7-8件)」、「症例研究賞演説(B 演説)」及び「病理診断特別講演(2件)」は1会場で行い plenary とする。会長は学術委員会と密な連携をとり、「シンポジウム」、「教育講演」、「公募演題」などは、会長の裁量にて複数会場で行なうことも可とする。IAP 教育セミナーなどとの効果的な連動を考慮する。アジア若手研究者を招聘し発表する場として、インターナショナルポスターセッションを開催する。
- (3) 学術集会プログラム統一性の確保：春期学術集会会長および秋期特別総会会長の立候補者は、学術集会プログラムの統一性の確保や類似プログラムの反復・乱立の回避などのため、プログラム内容や企画方針などを応募申請書に明記する。
- (4) 国際化への対応：学術集会の国際化を促進するために、英語での参加登録、インターナショナルセッションの設置、日程表の英語版の作成などに努める。
- (5) 実際の開催・運営に係る詳細な注意事項は別途定める。

平成 26 年 11 月 19 日 理事会策定

平成 27 年 3 月 17 日 同一部改定

平成 28 年 3 月 25 日 同一部改定

平成 29 年 12 月 1 日 常任理事会一部改定

## 5. 日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞の公募について

2011 年（平成 23 年）に日本病理学会は創立 100 周年を迎えました。日本病理学会 100 周年記念事業実行委員会では、病理学の医学・医療における位置づけを再確認し、病理学会のあるべき姿と進むべき方向を、より多くの方々と語り合う機会として、創立 100 周年記念事業を行ってまいりました。さらに、これらの事業と東日本大震災への義援金に加えて、日本病理学会の発展に資するプロジェクトを募集し、2020 年までの 10 年間にわたって実施することと致しました。「日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞」は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会（旧・若手医師確保に関する委員会）」が応募し、採用された公募プロジェクトです。本プロジェクトは、その後、理事会にて継続が認められました。

#### 本プロジェクトの概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要がある。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011年から10年間に渡り、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による1次審査(8名以内)と令和4年3月7(月)にweb上(公開)において口頭発表による2次審査を行い、今年度は3名を選出する。第111回日本病理学会総会で表彰し、賞金10万円を付与する。

下記の要領で候補者を公募します。

#### 対象：

以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者ととする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室(あるいはそれに相当する教室)博士課程に所属する学生であること(応募時)。
- 2) 応募翌年度の4月1日において、33才以下であること。(1月21日メ切)  
(令和3年度対象者：昭和63年4月2日以降生まれ)
- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学のMD/PhDコースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1年間以上、日本病理学会の会員である者。
- 5) ただし、出産・育児休暇(休学を含む)を医学部・歯学部入学以降に取っていた場合、大学・病院・指導教官(ただし、日本病理学会学術評議員に限る)などによる証明書(任意の形式)を提出することにより、同期間(最大2年間まで)の年齢制限の延長を認めることとする。

募集締切：令和4年1月21日(金)12:00必着

#### 提出書類：

\*応募書類は以下をPDF化した電子媒体(すべての書類をひとつのファイルとしてつなげたもの)にて提出していただくことになっております。

すべてA4の大きさのPDFで提出のこと。

下記の書類を、順番にひとつのPDFファイルにつなげてお送り下さい。

\*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

- 1) 履歴書(高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること)
- 2) 業績録(著者名をすべて記載し、代表論文3編までに關して、要旨を含む第1ページのコピー1枚ずつを提出)
- 3) 本人自身の研究業績の要約(1枚、必ずタイトルを

つけること)

- 4) 所属講座の教授(あるいは指導教官)の推薦書(1枚)
- 5) 大学院在籍証明書(コピー可)
- 6) 医師免許証のコピー(MD/PhDコースの学生は不要)
- 7) 受賞した場合、受賞後2年以内に本学会学会誌Pathology Internationalへ投稿を行うという誓約書(形式自由; 原著あるいは総説で共著可)。
- 8) 指導教官(ただし、日本病理学会学術評議員に限る)などによる出産・育児休暇(休学を含む)の証明書(任意の形式; 該当者のみ)

※尚、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明した場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求められることがある。

#### 提出先：

日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。
  - ① E-mailの件名として「病理学研究新人賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
  - ② 応募書類送付の方法(下に示すア～オのいずれか)と1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属(教室名まで正式名称を) 4. 研究業績の要約のタイトルを記載下さい。
    - ア) メール添付 ただし5MBまで
    - イ) UMINファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
病理学会事務局ID: jsp-admin
    - ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス(「データ便」等)
    - エ) USB, CD-ROM等の郵送送付
    - オ) その他の方法(具体的に記載して下さい。)

- (2) 上記(1)の申請メール送信後、応募書類(すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの)をPDF電子媒体として申請した方法にて送付して下さい。

- ① 件名・表題等は「病理学研究新人賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
- ② ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
- ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

#### 選考予定：

1次審査の結果は、令和4年2月末までにメールで連絡する。今年度の2次審査は令和4年3月7日(月)14～

17時にWEB上で実施する(発表10分, 討論10分の予定)。  
2次審査は病理学会より指名された審査委員により行う。  
2次審査は公開審査とし, 希望する病理学会会員が視聴できるものとする。

#### 6. 令和3年度日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞 公開2次審査に関する御案内

令和3年度日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞の2次審査会は, 下記の日時にてweb上での公開審査として行います。視聴を希望される方(ただし, 病理学会会員に限る)は下記のフォームよりお申し込みください。代表の方1名が申し込みをし, 複数人で視聴していただく方たちでも結構です。

審査会日時:

令和4年3月7日(月)14:00~17:00

申込: 下記HPよりお願いします。

<https://www.pathology.or.jp/jigyuu/100syuunen/R3rookie-award-detail.html>

※所定の項目を入力し, 申込フォームを送信してください。ご登録のメールアドレス宛てに自動返信メールにて視聴用URLをお送りします。時間になりましたらそちらからお入りください。

※自動返信メールが届かない場合, 迷惑メールに入っていないか確認の上, 病理学会事務局(jsp-admin@umin.ac.jp)にご連絡ください。

※質問される方へ

- ・ご自身のPC環境でマイクが利用できることを事前にご確認ください。
- ・質問のある方は質疑応答の際, 「手を挙げる」をクリックしてください。主催者側が指名し「トークを許可」しますのでマイクのミュートを解除し発言してください。許可する際には指名いたしますので, zoomウェビナーのログイン名はフルネームでお願いします。

※当日の接続トラブルのサポートはいたしかねます。

※病理専門医更新のための単位の付与はございません。

候補者については, 決まり次第上記ホームページ内に掲載いたします。(2月中旬以降に掲載予定)

#### 7. 「診断病理」投稿規定改訂のお知らせ

「診断病理」投稿規定の改定がありました。ご投稿の際には必ずご一読くださいますよう, よろしく願いいたします。

参照HP:

<https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/jjdp-toukokuitei211102.html>

#### 8. 一般会員(博士課程大学院生・初期臨床研修医)・学生会員区分の会費適用について

本来, 一般会員会費は13,000円ですが, 学術評議員の証明をもって一般会員(博士課程大学院生・初期臨床研修医)会費区分8,000円・学生会員会費区分5,000円が適用になります。つきましては, 来年度(2022年度)対象になる方はホームページをご参照ください。

参照HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/shomei-20211125.html>

#### 9. 2022年度ハンガリー病理解剖トレーニングコースについて

毎年夏期にSemmelweis大学にて実施しておりますハンガリー病理解剖トレーニングコースは, 新型コロナウイルス感染が未だ沈静化をみない現状, すなわち本邦での情勢が不透明であること及び欧州での感染再拡大により, 今のところ2022年度も開催の予定はありません。今後, 感染状況を注視しつつSemmelweis大学と協議して開催の可能性を考慮する予定です。その際は当ホームページでお知らせ致します。

#### 10. 【周知依頼】ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胃癌及び食道癌)の一部改正について

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長より, ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胃癌及び食道癌)の一部改正についての周知依頼がございました。以下HPよりご確認よろしく願い致します。

参照HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/20211202info.html>

#### 11. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました

玉置 憲一 名誉会員(令和3年12月10日ご逝去)

## お知らせ

#### 1. 日本顕微鏡学会 第78回学術講演会

開催日: 2022年5月11日(水)~13日(金)

開催地: ビックパレットふくしま(福島県郡山市)

※一部をオンラインとするハイブリッド開催予定

参照HP:

<http://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2022/index.html>

#### 2. 【周知依頼】MID-NETの利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて

独立行政法人医薬品医療機器総合機構レギュラトリーサイエンスセンター長より, MID-NETの利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて, 周知依頼がございました。以下HPよりご確認よろしく願い致します。

参照HP:

<https://www.pmda.go.jp/files/000243794.pdf>